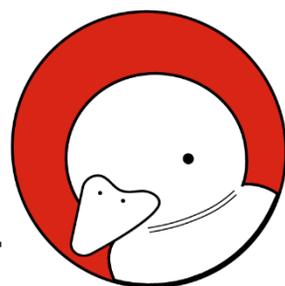


2023年夏号（第18号）



## 池田先生インタビュー

今年度から新たに池田さなえ先生が着任されました。専門は日本近代・現代史です。皆さんに池田先生について色々知ってもらいたくてインタビューを行い、先生から熱いメッセージをいただきました。（岩田・佐藤・渡辺）

### 一専門の日本近代史を好きになったきっかけ、好きな人物を教えてください。

幼い頃から漠然と歴史が好きでしたが、歴史を大学で研究しようと思った直接的なきっかけは、高校時代に司馬遼太郎の小説『幕末』に出会ったことです。そして、その小説の中で土佐藩出身の田中光顕という人物を知り、田中が宮中入りした明治以降の事績に興味を持ちました。しかし、田中についての史料が乏しかったため、同時代の宮中の史料を多く残していた長州の品川弥二郎という人物の研究を始めることになりました。品川は一部からは嫌われていて、高校で日本史を履修した人は品川に対してマイナスのイメージが強いかもしれませんが、実際は自分のことを「やじ」と呼ぶなど、ユーモアがあり、周りから愛されていた人物です。なので、さらに品川の魅力に惹かれていきました。



▲インタビューの様子

### 一歴史学科に来て、一番驚いたこと・印象に残ったことを教えてください。

一番驚いたのは、歴史学科の学生の皆さんが、歴史が好きすぎるということです。高校時代に自分たちが好きな歴史の分野をあまり話す機会がなかった反動かもしれませんが…。また、普段の授業などでも教員と学生の距離の近さを感じますし、学生の皆さんとも話やすく、個性的で優秀な人ばかりだと思いました。

### 一在学生に一言お願いします。

こじつけでもよいので考え続けてください。そして何よりも皆さんが興味のある分野を楽しく研究して欲しいです。そうすれば、研究も長く続きますし、後々その研究が誰かに影響を与えていくものになっていきます。一方で、大学卒業後に、歴史を研究しない人たちにとっても、歴史を研究し学ぶことによって色々な能力が得られるので、将来かなり役に立つと思います。京都は本当に魅力的な町なので、歴史のことばかりではなく、在学中に京都の色々な場所に行ってみてください。



#### 池田さなえ先生

京都府立大学文学部歴史学科准教授。明治期の政治経済史を研究。大きな組織の財政構造に関心を持ち、皇室財産や教団経営などの研究を行う。最近ではバラバラだった社会の人びとを政治的に組織化していく過程に注目するようになり、こうした組織化の過程を可視化する新しい分析手法を考案している。



# 新入生学外研修 IN 岡崎



歴史学科1回生は5月15日（金）に岡崎方面に新入生研修に行ってきました。新入生研修は毎年学生と教員の交流を目的として開催されます。午前中に琵琶湖疏水から南禅寺まで歩いて周辺の史跡を見学し、京都市動物園を散策した後、午後から大学に戻って学生と教員の交流会を行いました。



▲水路閣での説明の様子

まず最初に訪れた琵琶湖疏水では国登録有形文化財に登録されている旧御所水道ポンプ室、国史跡に指定されている蹴上インクラインなどを見学しました。上杉先生や池田先生が、京都の近代化に水運や発電などで大きく貢献した疏水やその建設技師として活躍した田邊朔郎について解説してください、理解を深めることができました。



▲南禅寺三門

その後は琵琶湖疏水を北上し、20分程歩いて京都五山の別格上位の南禅寺に到着しました。南禅寺三門に上り、そこから見る美しい京都の景色に「絶景かな」と漏らす学生姿が見られ大変印象的でした。

京都市動物園では動物園の歴史だけでなく、横内先生が院政期の白河の歴史について解説してくれ、また諫早先生が当地に白河上皇によって建てられた法勝寺の発掘調査成果を紹介してくれました。現在動物園の観覧車がある場所に法勝寺の九重塔があったことを知り、上皇の権力の強大さをありありと想像できました。展示された遺物を確認することもできました。



▲動物園の観覧車、九重塔跡地

午後からの交流会では各々の学生が興味のある分野の先生と話をしました。和菓子とお茶を楽しみながら、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。まだ専門にしたい分野が決まっていない学生も様々な分野の先生との会話を通じてそれぞれの分野の面白さに触れ、考えを深めることができました。

(安田・荒矢)



▲交流会の様子

今号は浅田・寺本（校正）、芝田・米山・若山（編集）が担当しました。

## デザ研について～About Us～

文化遺産デザイン研修は歴史学科の課外活動です。歴史や文化遺産に関する内容を自分たちで調査し、その成果を適切に表現・発信することを目的とし、インプットからアウトプットまでをデザインします。また、活動を通じてメンバー自身の成長とキャリアデザインの機会にもなっています。

2023年度は学科ニュースレター「れきしんぶん」の発行に加え、卒業生インタビュー、昨年度好評だった一回生と教員の交流を図るPS交流会などを実施する予定です。

作成：京都府立大学文学部歴史学科文化遺産デザイン研修  
発行：606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

京都府立大学文学部歴史学科



FOLLOW ME...  
@designkenshu